

## 変わり続ける社会へ、こたえを届けていく



※ 詳細は「Kawasaki Vision Map 2030」をご覧ください。

川崎重工グループは2030年に向けて「つぎの社会へ、信頼のこたえを」というビジョンを掲げ、刻々と変わる社会に対して革新的なこたえを出していくことで、希望ある未来をつくらうとしています。

このなかで、事業を通じて創出する社会・環境価値と、SDGsへの貢献を示すものとして定めた3つの注力分野が「安全安心リモート社会」「近未来モビリティ」「エネルギー・環境ソリューション」です。私たち川崎重工グループは、社員一人ひとりが高い目標を掲げて課題に挑戦し、自ら成長しながら新たな価値を創造していきます。

### Kawasaki Vision MAP 2030



■手術支援ロボット



医療現場で活躍するロボットを通じて、患者様の高いQOL実現や医療従事者のサポートに貢献します。

■水素航空機



水素航空機やその他の環境関連技術の進歩により、カーボンニュートラルに向けた明るい未来を描けるように研究開発を推進します。

■配送ロボット



ものの配送などの単純作業をロボットに任せることで、人はより付加価値の高い仕事に集中できるようになります。ロボットをもっと身近に感じられる未来をつくっていきます。

■軌道遠隔監視サービス



鉄道の軌道点検作業をリモートかつ効率的に実施できるようにし、安全安心な鉄道システムの構築に貢献します。

■ヒューマノイドロボット



ヒューマノイドロボットの開発を通して、人とロボットが共に働く未来をつくっていきます。

■液化水素運搬船



水素の大規模輸送を実現する、世界初の大型液化水素運搬船を世に送り出し、世界のエネルギーをガラッと変えていきます。

■油圧システム



革新的な油圧システムの開発を通じて建設機械の自動化・自律化に貢献し、安全安心な建設現場を実現します。

■VTOL無人機



労働人口減少という社会課題に対して、VTOL無人機によって新しい空の輸送手段を創出し、物資輸送や災害支援に貢献することで、こたえを示します。

■水素ガスタービン



高まる水素発電の需要に対し、水素ガスタービンの開発で応えます。環境・エネルギー問題の解決と、人々が安心して暮らせる社会を目指します。

■ハイブリッドモーターサイクル



環境負荷の低減と乗る楽しさの両立を目指し、ハイブリッドモーターサイクルでも「FUN TO RIDE」を実現します。